

ダラキユーロ+Ld療法 1クール・2クール目(多発性骨髄腫)

	1	2	3	4	休業期間
	基準日	7日後	14日後	21日後	27日後
点滴・注射	<p>■---【注射】</p> <p>抗)ダラキユーロ配合皮下注 … 1800mg/body 心電図モニター使用 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。</p> <p>レプラミド・レナデックスと併用する ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキユーロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg・カロナル錠1000mg・モンテルカストOD錠10mgを内服する。 皮下注射 … 1</p>	<p>■---【注射】</p> <p>抗)ダラキユーロ配合皮下注 … 1800mg/body 心電図モニター使用 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。</p> <p>レプラミド・レナデックスと併用する ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキユーロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg・カロナル錠1000mgを内服する。 皮下注射 … 1</p>	<p>■---【注射】</p> <p>抗)ダラキユーロ配合皮下注 … 1800mg/body 心電図モニター使用 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。</p> <p>レプラミド・レナデックスと併用する ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキユーロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg・カロナル錠1000mgを内服する。 皮下注射 … 1</p>	<p>■---【注射】</p> <p>抗)ダラキユーロ配合皮下注 … 1800mg/body 心電図モニター使用 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。</p> <p>レプラミド・レナデックスと併用する ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキユーロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg・カロナル錠1000mgを内服する。 皮下注射 … 1</p>	<p>■---【コメント】</p> <p>休業期間</p>
薬物投与	<p>レプラミドカプセル5mg … 5Cap 1×/21日 7日間休業</p> <p>レナデックス錠 … 5錠 1×/2日</p> <p>レスタミンコフ錠 … 5錠 1×/1日</p> <p>カロナル錠500 … 2錠 1×/1日</p> <p>モンテルカスト錠10mg … 1錠 1×/1日(1クール目)</p>	<p>レナデックス錠 … 5錠 1×/2日</p> <p>レスタミンコフ錠 … 5錠 1×/1日</p> <p>カロナル錠500 … 2錠 1×/1日</p>	<p>レナデックス錠 … 5錠 1×/2日</p> <p>レスタミンコフ錠 … 5錠 1×/1日</p> <p>カロナル錠500 … 2錠 1×/1日</p>	<p>レナデックス錠 … 5錠 1×/2日</p> <p>レスタミンコフ錠 … 5錠 1×/1日</p> <p>カロナル錠500 … 2錠 1×/1日</p>	

ダラキユーロ+Ld療法 3～6クール目 2週間間隔(多発性骨髄腫)

	1	2	休業期間
	基準日	14日後	27日後
点滴・注射	<p>■---【注射】</p> <p>抗)ダラキユーロ配合皮下注 … 1800mg/body 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。</p> <p>レプラミド・レナデックスと併用する ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキユーロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg・カロナル錠1000mgを内服する。 皮下注射 … 1</p>	<p>■---【注射】</p> <p>抗)ダラキユーロ配合皮下注 … 1800mg/body 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。</p> <p>レプラミド・レナデックスと併用する ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキユーロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg・カロナル錠1000mgを内服する。 皮下注射 … 1</p>	<p>■---【コメント】</p> <p>休業期間</p>
薬物投与	<p>レプラミドカプセル5mg … 5Cap 1×/21日 7日間休業</p> <p>レナデックス錠 … 5錠 1×/1・2・8・9日</p> <p>レスタミンコフ錠 … 5錠 1×/1日</p> <p>カロナル錠500 … 2錠 1×/1日</p>	<p>レナデックス錠 … 5錠 1×/15・16・22・23日</p> <p>レスタミンコフ錠 … 5錠 1×/1日</p> <p>カロナル錠500 … 2錠 1×/1日</p>	

ダラキユーロ+Ld療法 7クール目以降 4週間間隔(多発性骨髄腫)

	1	休業期間
	基準日	27日後
点滴・注射	<p>■---【注射】</p> <p>抗)ダラキユーロ配合皮下注 … 1800mg/body 15mLを3～5分かけて皮下注射する 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に投与する 痛みがあるときは注射速度を減速又は中断する。減速しても痛みが軽減しないときは残りを左右逆側の腹部に投与することができる。</p> <p>レプラミド・レナデックスと併用する ★調製後4時間以内に使い切ること ダラキユーロ投与1～3時間前にレナデックス錠・レスタミンコフ錠50mg・カロナル錠1000mgを内服する。 皮下注射 … 1</p>	<p>■---【コメント】</p> <p>休業期間</p>
薬物投与	<p>レプラミドカプセル5mg … 5Cap 1×/21日 7日間休業</p> <p>レナデックス錠 … 5錠 1×/1・2・8・9・15・16・22・23日</p> <p>レスタミンコフ錠 … 5錠 1×/1日</p> <p>カロナル錠500 … 2錠 1×/1日</p>	